

## 「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）」説明会における意見及び対応

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
1	10月10日	東和総合支所 第1会議室	今後統合を進めるにあたっては、地域の今後の運営をどうしていくのかという議論もあると思う。南城や宮野目では企業立地によって今後児童生徒が増えていく見込みだが、それ以外の今後減少していくと推測している地域についても人口増に転じる可能性があるので、この方針に従って統合は進めていくが、推計と状況に変化が生じた場合は臨機応変に対応できる余地を残してほしい。	本基本方針（案）は、理想とする学校の姿をお示ししたものであり、具体的な対応は、学校、PTA、地域等のご意見を伺いながら進めていくこととしております。今後、社会情勢等の変化により、適正規模・適正配置の考え方を修正すべき状況が発生した場合は、PTAや地域と十分協議しながら適切に対応してまいります。	修正なし
2	10月11日	大迫交流活性化 センター 多目的ホール	20年後の姿を見据えての基本方針はよくわかった。複式学級を解消するというのは、PTAも地域の方も納得していることだと思う。それから地域に小学校1校、中学校1校というのも、この位子供が少なくなれば仕方がない事だと思う。PTAでも地域でもある程度の予想はしていたと思う。	【基本方針（案）に賛同】	修正なし
3			統廃合の話については、20年というスパンではなく、もっと短い期間で、教育委員会が主導するなりして話を進めていってほしい。	基本方針策定後に、適切に対応してまいります。	基本方針策定後に適切に対応
4	10月12日	湯口振興センター 大広間	湯口の場合、行政区と学区が一致しない現状がある。地域のコンセンサスを得て、学区を見直すことも考えていいのではないか。	PTAや保育園・幼稚園の保護者など直接的な関係者の意見、地域の意見がまとまれば学区再編を行うことを基本方針（案）に明記しています。	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
5	10月12日	湯口振興センター 大広間	部活動を理由に指定校変更をする子どもが増えると小規模化がもっと早く進む可能性もあると思う。	部活動の趣旨は生徒の自主的な活動の中で仲間意識等を高めていくことであり、勝利至上主義のような活動は望ましくないと考えていますし、部活動を理由とした指定校変更は認めていないところです。転入転出等の要素も考えられますが、誤差の少ない出生数での推計値を用いたいと考えます。	修正なし
6			コミュニティスクールについても記述し、地域が学校運営に直接参画していくことも考えるべきではないか	県教育委員会は、これまで岩手型コミュニティ構想を進めてきましたが、H34年度からは全県にコミュニティスクールを導入したいとしています。本市における対応としては、地域で了解をいただいたところから導入を進めることになるとは思います。具体的な内容についてはまだ検討が必要な状況であり、本基本方針への記載は困難な状況です。	修正なし
7	10月16日	花巻市交流会館 交流スペース	石鳥谷地域では小中一貫校の導入を検討したいとなっているが、現行の学習指導要領の中でも先生方が研鑽に努めればこういったことは十分に可能ではないか。教育委員会としては、そのように教職員を養成すれば現行制度の中でも可能と思う。	平成28年4月に学校教育法が改正され、小中一貫教育が制度化されております。現在、本市では「小中連携事業」による取組みを推進しておりますが、今後、学校やPTAとの話し合いにより、小中一貫教育の導入を希望するもしくは検討したいとのご意見をいただいた場合に対応できるようにするため、本基本方針（案）に可能性として記載しているものであり、小中一貫教育の導入を決めたものではありません。	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
8	10月16日	花巻市交流会館 交流スペース	20年後の花巻を考えた時に必ず今と状況は変わる。改革をしていかなければならないのはそのとおりで、教育委員会の考えには賛成である。ただ、今後も学習指導要領が変わっていくと思うので、柔軟に対応していかなければならない部分もあると思う。	<b>【基本方針（案）に賛同】</b> 本基本方針（案）は、理想とする学校の姿をお示ししたものであり、具体的な対応は、学校、PTA、地域等のご意見を伺いながら進めていくこととしております。今後の学習指導要領の改訂に対しても学校と十分協議しながら適切に対応してまいります。	修正なし
9			「地域が学校運営を社会教育という面で下支えしている」という記載があるが、コミュニティ会議からすると学校が地域を支えているということも非常に大きいと思うので、そういう文章も併記してほしい。	基本方針（案）において、学校が地域のコミュニティの核としての性格を有していること、ゆえに、地域（花巻・大迫・石鳥谷・東和）内から学校がなくなることがないように留意することを記載しています。	修正なし
10			東和小学校等新しい学校を見ると施設の内容が全然違う。今回の説明会は学校規模のことであったが、教育内容、教育環境の平準化ということについても基本方針に入れてもらえると市民の関心も得られるのではないか。	基本方針（案）の中に施設改築等の基本ルールの「長寿命化による改修」において、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うことを記載しています。	修正なし
11	10月17日	西南中学校 会議室	国の基準と地域の子どもの現状を考えた時に将来的な学校の姿として線引きするならこういう考え方があるというアウトラインを示してもらったと思っている。これからは小さな規模でものを考えるのは無理がある。	<b>【基本方針（案）に賛同】</b>	修正なし
12			今から小学校児童に「地域」「学校」「花巻」についての考え方を聞く機会や、大きい学校の子達はこういった勉強をしているのか、交流の機会をもつなどし、子ども達も心の準備もできるようにしてほしい。今の子ども達が20年後によかったと思えるような教育環境をお願いしたい。	そのような学習については、「ふるさと学習」として学校で実施している。基本方針策定後にPTA等との学習会を実施していく場合は、他校との交流なども盛り込みながら実施してまいります。	基本方針策定後の対応において留意する

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
13	10月17日	西南中学校 会議室	この地域に焦点を絞って、こういう方向にリードしたいという内容で説明してほしい。	基本方針策定後において、各校PTAや地域と、学習会や協議等を重ねながら方向性を定めてまいります。	基本方針策定後の対応において留意する
14	10月22日	花巻市文化会館 中ホール	本方針案を作成するに当たって、現状を踏まえて非常にご苦勞をされたと思う。こういう形にならざる得ないのは仕方ないと思う。	【基本方針（案）に賛同】	修正なし
15			先生方の配置が子供達の人数で決められ、人数が少なければ色々な先生から色々学ぶ機会がなくなるような今の文部科学省の制度によって、地方がどんどん力がなくなっている。これは花巻だけに限らず、岩手県や東北、北海道でもいえることだと思うので、地方から改善していかなければ子供達を育てる教育ができない。こういうことを改善させるような見直しがないような気がする。	全国教育長協議会なども毎年国に対して、定数改善をお願いしています。実現は厳しい状況ですが、これからも強く要望してまいります。	修正なし 今後も国に対して要望していく
16	10月24日	石鳥谷 生涯学習会館	自分たちが気になるのは、やはり「いつ、どうなるのか」ということである。個人的には早く統合を進めてほしいと思っている。周りでもそういう話をよく聞くが、一方で具体的にいつまでにやる。ということを公言できないこともよくわかるが、早めに示してもらえればと思う。	基本方針策定後において、各校PTAや地域との学習会や協議等を重ねながら、決定してまいります。	基本方針策定後の対応において留意する

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
17	10月24日	石鳥谷 生涯学習会館	石鳥谷は市としても居住誘導区域を設けて人口増に取り組んでおり、状況が変わることもあり得るのではないかと。その場合、状況を見ながら基本方針を見直しをしていくという考えはないか。	本基本方針（案）は、理想とする学校の姿をお示ししたものであり、具体的な対応は、学校、PTA、地域等のご意見を伺いながら進めていくこととしております。今後、社会情勢等の変化により、適正規模・適正配置の考え方を修正すべき状況が発生した場合は、PTAや地域と十分協議しながら適切に対応してまいります。	修正なし
18	10月26日	なはんプラザ COMZホール	自分は前田小学校の複式学級で育った。先生も大変だったと思うし、自分達もいまひとつ授業を受けた感じがしなかったので、複式学級をなくすことは賛成である。	【基本方針（案）に賛同】	修正なし
19			地元に住みたくても学校がないために街中に家を建てた人の話も聞く。地域連携や人口減少を考えると地域から学校がなくなるのは好ましくないと思う。	前田小学校と湯口小学校の統合に当たっては、地域づくり、教育振興運動、郷土芸能の面等でたくさんの意見がありましたが、最終的には、子供達に学力をどう保障したら良いかということで今の判断になった経緯があります。学校は、何よりも児童生徒の学力を保障する責務があり、その実現を図るうえで、一定規模の児童生徒の集団とバランスの取れた教職員体制を整えることが必要であると考えます。 なお、本基本方針（案）は、理想とする学校の姿をお示ししたものであり、具体的な対応は、学校、PTA、地域等のご意見を伺いながら進めていくこととしております。	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
20			人口減少に対応した基本方針の見直しということだが教育の問題だけではないと思う。若い人は学校の周辺に家を建てる一方、人口が減少している地域もあり、これを花巻市全体としてどう考えるかだと思う。	人口減少対策は、市の重要課題であり、市全体で様々な取り組みを実施しています。ただし、教育委員会として本基本方針（案）をお示したのは、これから20年先に、子供達の教育環境はこれで良いのかということ考えたからです。学校は、何よりも児童生徒の学力を保障する責務があり、その実現を図るうえで、一定規模の児童生徒の集団とバランスの取れた教職員体制を整えることが必要であると考えます。	修正なし
21	10月29日	花南振興センター 第2会議室	適正規模について、国の基準では40人であるが、子どもの減少により25人から35人で良いのか考え直さなければならないのではないかと。 現在は35人学級であるため、36人になった場合は2クラスになるので、学級が18人になるが、そうすると市が示した25人～35人を満たさないことになるのではないかと。ヨーロッパは30人学級と聞いており、示された適正規模が全面的に正しいのか疑問。	学年集団が36人のときは、現在、県が35人学級を導入しているため、18人ずつの学級になりますが、一方で2学級という大きな集団となることから、授業内容によっては、1つの学級だけで授業をするのではなく、2つの学級が合同で授業を実施するなど、柔軟性を発揮した学習環境の創出が可能になると考えます。 学級規模について「正解」はなく、提供したい学習環境を念頭に、それぞれの自治体が方針を示すべきものと考えます。	修正なし
22			クラブ活動について学校規模で大きな差がある。孫も部活動よりもスポ少で夜中に練習に行っている。すべての学校が部活動をやっていくのか可能なかどうか。スポ少へ移行することも可能性としてあるのではないかと。先生方が慣れない部活の指導をやっていくことを考えるともっと考えていかなければならない。	現在、「部活動の在り方検討会議」を組織し、休養日の設定や活動時間などの見直しを進めており、本基本方針（案）とは別に、考え方をまとめ実施していくこととしています。長期間にわたり現在の手法で部活動が実施されてきているため、急激な変化は難しいという実態もありますが、学校や競技団体の理解をいただき、生徒も先生もゆとりのある活動にしていきたいと考えています。	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
23	10月29日	花南振興センター 第2会議室	子どもの人数だけから方針を考えてよいのか疑問。子どもが減る原因があるので、子育て支援、子どもを産み育てる環境をどう考えるか市全体で問題にして考えるべき。	<p>人口減少対策は、市の重要課題であり、市全体で様々な取り組みを実施しています。その中で子どもの減少を食い止めるための取り組みとして、イーハトーブ花巻子育て応援プランに基づき100を超える子育て支援事業を教育委員会だけでなく各部署、関係団体が連携・協力して実施しています。</p> <p>学校は、何よりも児童生徒の学力を保障する責務があり、その実現を図るうえで、一定規模の児童生徒の集団とバランスの取れた教職員体制を整えることが必要であると考えます。</p> <p>なお、本基本方針（案）は、理想とする学校の姿をお示ししたものであり、具体的な対応は、学校、PTA、地域等のご意見を伺いながら進めていくこととしております。</p>	修正なし
24			教員の不足について疑問に思うのは、時間外勤務が80時間を超えているという新聞報道がされているにもかかわらず先生が配置されないし、この方針案にも先生方の配置については出てこない。ここにメスを入れない限りいくら部活動を制限しても先生達の負担は変わらないのではないか。	<p>教職員の配置は学校教育法で定められており、児童生徒数と学級数で決まるものです。また、教職員の配置は都道府県が行うこととされているため、市が教員を採用し配置することはできません。市では、先生方の負担軽減のため教員をサポートをする人材をすでに60人程度配置しています。ただし、市で配置している方は、担任を持ったり授業をしたりということが法令上できないものです。教職員の定数を増やすためには、法令の改正や国の予算確保が必要であり、市が決定できるものではないことをご理解願います。</p>	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
25	10月30日	湯本振興センター 和室 2階大広間	児童生徒数が少なくなると、教員の配置人数が減るといっているのであれば、教職員定数を変えればいいのではないか。そういう対策を盛り込むべきではないか。	教職員の配置は学校教育法で定められており、児童生徒数と学級数で決まるものです。また、教職員の配置は都道府県が行うこととされているため、市が教員を採用し配置することはできません。市では、先生方の負担軽減のため教員をサポートをする人材をすでに60人程度配置しています。ただし、市で配置している方は、担任を持ったり授業をしたりということが法令上できないものです。教職員の定数を増やすためには、法令の改正や国の予算確保が必要であり、市が決定できるものではないことをご理解願います。	修正なし
26			説明会は回覧板で知った。回覧板だけでは人数が集まらないと思う。それで意見をもらうことは難しいのではないか。	広報誌、HP、ラジオで周知したほか、地域に対しては回覧やコミュニティ会議会長への案内、振興センターへのチラシとポスター設置を行い、PTA・保育園保護者等へは個々に案内文書を送付したところです。また、新聞にも説明会の開催についての記事を掲載いただいております。	中学校学区単位での説明会終了後、各小中学校PTAに対し「出前学習会」の開催を呼びかけた
27			中学校3学級は学校運営としては非常に厳しい。そのような小さい学校については、早めに方向性を示して協議していくようにしてほしい。	実際に統合となれば、協議から実現まで少なくとも3・4年を要するのが一般的であり、だからこそ、早めに実態をお示ししてお考えいただく機会としたいと考え、本基本方針(案)を示したところである。基本方針を策定した後に適切に対応してまいりたい。	修正なし

No.	月日	会場	意見の内容	回答	対応
28	10月31日	矢沢振興センター 1階和室大広間	部活の選択肢があるのは良いかもしれないが、親の方から言うと小さいころから競技をすごく盛んにさせたいと思ったら違う方法をとっているという現状もご理解いただいた上で、中学校の部活動が少なくなるというよりも生徒の教育の質をどう上げるかということで中学校の統合とか考えていただければ良いと思う。	地域のスポーツクラブへ参加している児童生徒も多くなっていますが、一方で、送迎や会費等の問題により参加できない児童生徒がより多いことも事実であり、ワークショップの中では、学校部活動の選択肢を求める意見が多かったという事実もあることから、部活動についての記載も必要と考えます。ただし、特に中学校については教育の質という面で考えるべきだというご意見は、その通りだと認識しております。	修正なし
29			北上の工業団地が活性化すれば矢沢地区も活性化するのではないかと考えているので、何とか校舎を新しくして、生徒とか子供たちを呼んでもらえればと思う。	基本方針策定後に、PTAや地域と学習会や協議等を重ねながら、方向性を定めてまいります。	基本方針策定後の対応において留意する